

## 長岡税務署長賞

### 幸せは税金で買える

長岡市立越路中学校

三年 青柳 和奏

先日、父と税金の話をした。

「お父さんなんて給料の中から10万円も引かれているんですよ。本当に大変だよ。」

私は予想以上の金額に驚いた。聞くと、所得税の他にも様々な税金が引かれているらしい。驚くと同時に、自分も将来、きつと税金に悩むのだろうと不安になった。

「少子高齢化が進みすぎだよ。なんで私たちが年金にあてられるお金を払わせられなきゃいけないのかな。嫌になるよ。」私は本当にそう思っていた。しかし、次の父のひと言が私の考えを180度逆転させたのだ。「じゃあお前は、自分のおばあちゃんたちが生活できなくてもいいんだな？」

私は今まで、「他人のために税金を払わされている」と、マイナスなイメージしかなかった。しかし、これを自分のため、家族のためと考えるとどうだろう。

たとえば、父の言葉のように、今払っている税金で、自分の祖母たちが暮らせている。私は中学校で十分な教育を受けられている。弟たちの学校の改装工事が行えた。兄がいつも

綺麗な体育館で筋トレできている。父も母も、整備された道路を使って、十分な医療も受けられている。そう考えると、税金のおかげで生活が支えられていると実感できた。もしも税金がなかったら、自分も自分の家族も、今頃大変な目に合っているだろう。

しかし、それでも大人になった時に、税金の負担額が大きすぎると不満を持つだろう。今まで教育を受けた分と家族の生活を支えてくれた分を足しても、自分が一生で払う金額の方が多いと感じるかもしれない。しかし、ここでマイナスなイメージは持ちたくない。大人になってから納める税金は、今度は自分の両親の年金に使われ、自分の子供が十分な教育を受けるために使われる。今までもそうやって、両親、祖母、曾祖母：皆が税金を納めてきたから、今もこうして生活できている。過去も今も未来も、自分が納めた税金は、いつでも自分と身近な人の人生を守っているのだ。そう考えると、私たちが納めた税金は、利子もついて返ってきていたんだと思った。

税金を納めるのは自分のためであり家族のため。私はこの考えで税金は素晴らしいと感じることができた。税金は過去への恩返しであり、今への感謝であり、未来への貯金なのだ。今、税金を気持ち良く払っている人はどのくらいいるだろう。私は税金についてもっと学び、考えを深め、それを広めていかなければならない。

今まで「払わされていた」と感じていた税金。しかし、払うのならば、少しでもいい気分で払ってはどうかだろう。これからは、未来の自分と自分の家族の幸せを買うために納めていこうと思う。